

登録コード:MH217400 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目 必修
科目名	臨床検査総論 (関係法規)【20M・21M】 Clinical Laboratory Syzygiology and Related Regulations		
担当教員	松本 竹久 松田 和之・山内 一由・矢崎 正英・安尾 将法・樋口 由美子		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	検査技術科学/4年 後期(前半) 火曜・5時限 木曜・5時限		
単位数、講義室	1単位	保健学科221講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	非該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標
	MH20カリ・保健		
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。		臨床検査における関係法規および臨床検査の総合的な知識や技術について理解する。
授業で学べる「テーマ」	健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	臨床検査の各分野における関係法規と、臨床検査管理学としての関係法規について学び、これまでに履修した専門科目群における基本的かつ先進的な内容を含む重要事項を習得するための講義を行う。 本授業は、1年次から4年次までの知識を前提とする。 本授業は、担当教員の医療機関における医療職としての実務経験を活かし講義、演習を行う。		
授業計画	第 1 回 (9月29日火) 関係法規 (松本) 第 2 回 (10月 1日木) 微生物学 (松本) 第 3 回 (10月 6日火) 血液検査学 (新井) 第 4 回 (10月 8日木) 免疫検査学 (樋口) 第 5 回 (10月13日火) 病理組織学 (木村) 第 6 回 (10月15日木) 病理学・解剖組織学 (太田) 第 7 回 (10月20日火) 生化学・遺伝子検査学 (松田) 第 8 回 (10月22日木) 臨床化学・管理総論 (山内) 第 9 回 (10月27日火) 臨床生理学 (平) 第10回 (10月29日木) 臨床生理学・医学総論 (矢崎) 第11回 (11月 5日木) 臨床生理学・医用工学 (安尾) 第12回 (11月10日火) 一般検査学・授業アンケート (新井) 第13回～16回 (11月 18日) 国家試験に準ずる試験 (11月18日水曜日)【本試験9:00-12:00/13:00-16:00】241教室 火曜、木曜の集中講義とする。 試験は水曜日に行う。		
授業の進め方	各担当教員指定の教科書、プリントによる講義・演習を行う。		
テキスト、教材、参考書	各担当教員指定の教科書・参考書・プリント		
成績評価の方法	試験に基づいて総括的に成績を評価する。 試験は6割以上を合格とする。 詳細は、別途配布する。		
成績評価の基準	【試験の評価基準】 授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「水準にある(可)」、応用問題が解ければ「やや上にある(良)」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある(優)」、例題よりもかなり難しい応用問題が解ければ「卓越している(秀)」と判定する。 成績評価の判定基準は、筆記試験満点を100点満点に換算して、90～100点が秀、80～89点が優、70～79点が良、60～69点が可とする。		
事前事後学習の内容	【事前学習について】 eALPSに講義内容についてあらかじめ資料を掲載するので、予習すべき内容について事前学習をすること。 【事後学習について】 毎回授業の初めに、前回の授業の要点について復習(事後学習)してきた内容や、能動学習として学んできた内容についての質問を行うので、自分の言葉で端的に分かりやすく説明できるように準備して授業に臨むこと。 本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とす		

事前事後学習の内容	る。 授業時間30時間（2時間×15回）+ 自己学習時間15時間（1時間×15回）= 45時間 以上の自己学習時間を考慮して、事前・事後学習に意欲的に取り組むこと。
学生へのメッセージ並びに質問 ，相談への対応	これまで学んだ知識や技術を包括的に身に付ける重要な講義となるため、事前、事後学習により体系的な理解度を高めていく必要がある。 個別の質問等は随時受け付ける。 オフィスアワー:随時（要事前連絡 tmatsumoto@shinshu-u.ac.jp） 保健学科 中校舎3階 松本研究室